

松本市美々原再生計画

令和4年12月

松本市

目次

はじめに	P. 1
第1章 美ヶ原再生の方向性	P. 2～ 5
第2章 美ヶ原の現状(ポテンシャル)と課題	P. 6～13
第3章 全体構想	P.14～22
第4章 エリア別構想	P.23～27
第5章 ロードマップ	P.28～29
おわりに	P.30
[参考資料]	P.31～36

“日本に誇る高原観光地”への再興

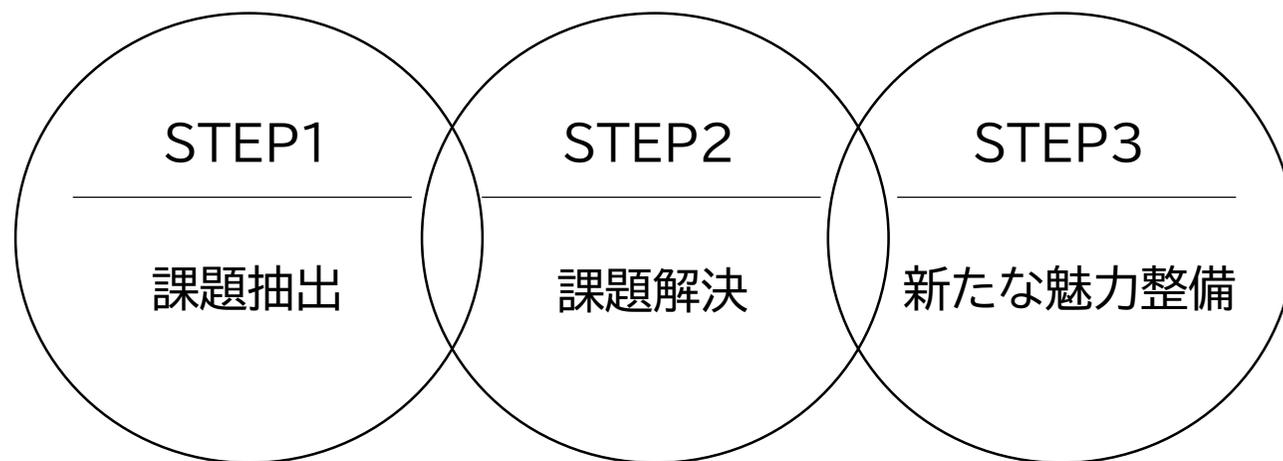
2,000mの標高に広がる平坦な美ヶ原高原は、八ヶ岳中信高原国定公園に指定されているとともに、日本百名山でもあり、北アルプスから浅間山まで見渡せる360度のパノラマ展望と、遠くは富士山までもが見通せる抜群の眺望が魅力です。

また、「高山植物の宝庫」と謳われる彩り豊かな高原に、市街地から1時間足らずで到着できる抜群のアクセスと、麓には浅間温泉や美ヶ原温泉の温泉宿が軒を連ねるエリアとなっています。

市民にとっても美ヶ原高原への登山口として親しまれる三城地区さんじろは、牧場やキャンプ場が広がっている自然豊かなエリアです。

このように多くの魅力がある一方、自然環境の変化や接続道路の老朽化、観光客の減少など様々な課題があることも事実です。

「松本市美ヶ原再生計画」は、こうした美ヶ原の多岐にわたる課題一つ一つに向き合い、解決を図ることで、かつての自然豊かで多くの方々が訪れていた美ヶ原の姿を再び取り戻します。加えて、今までと違った新たな魅力を整備・発信し、市街地と一体的にプロモーションを行うことで、美ヶ原を“日本に誇る高原観光地”へと再出発することを目指し策定するものです。



美ヶ原再生のテーマ <課題に“向き合い(FACE)”、観光の“顔(FACE)”へ >

美ヶ原の豊かな自然は松本市の財産です。多くの方に愛され、認知してもらえるよう様々な課題に“向き合い(FACE)”、魅力を維持し、シンカさせていくことで、松本市の標榜する「三ガク都」の一層の推進を図ります。

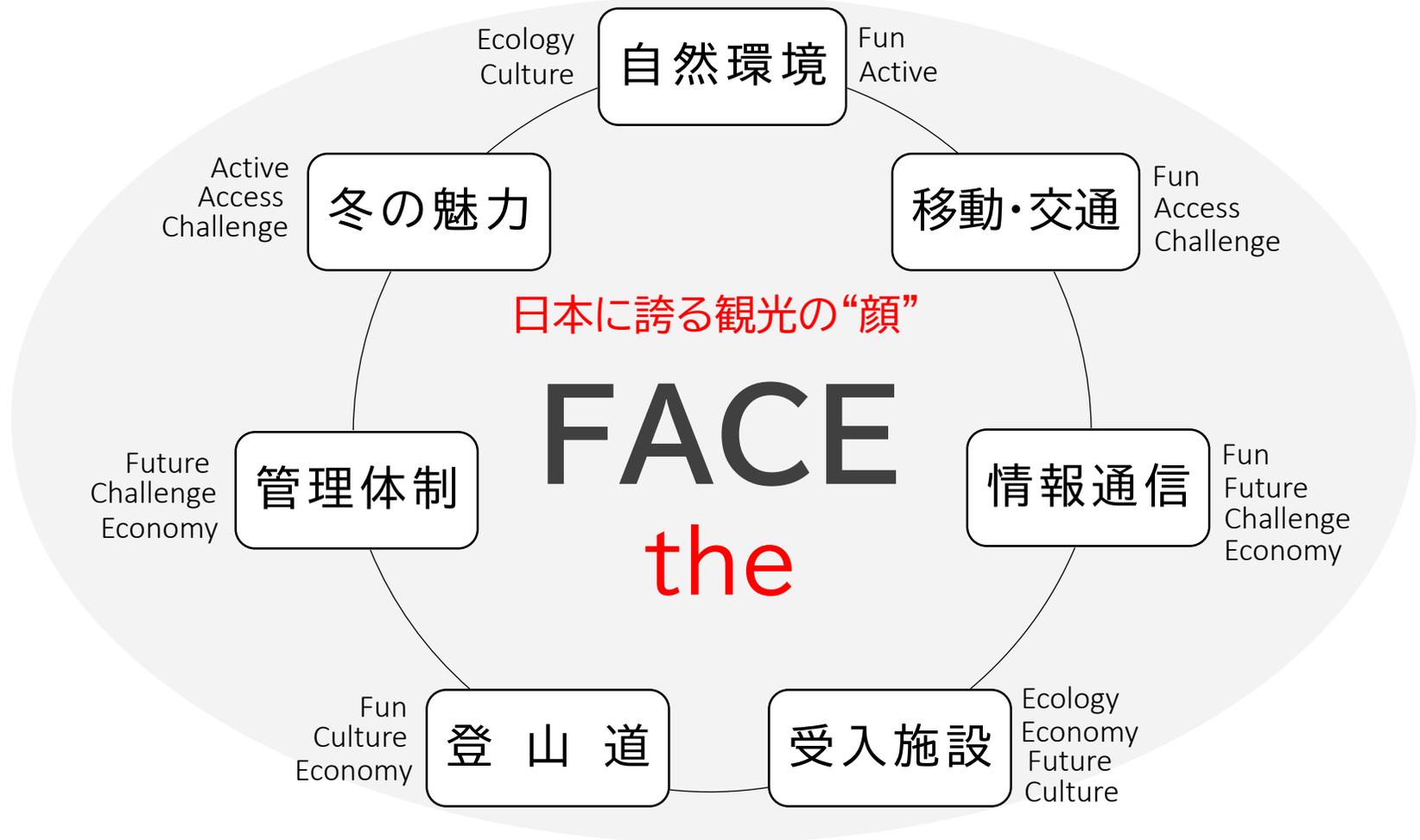
そして、松本市が日本に誇る観光の“顔(FACE)”となることを目指します。

	F	A	C	E
	Fun / Future	Active / Access	Culture / Challenge	Ecology / Economy
魅力	Fun : 景色を楽しみ、四季を感じることができる	Active : 日本一高く広大な台地で多様な自然を満喫	Culture : 多くの市民が訪れ、自然を学び、慈しむ	Ecology : 豊かな自然を保全し、利用することで、未来に継承
目標	Future : 将来にわたって愛される観光地となるように魅力を維持し、シンカ	Access : 2,000mの標高でありながら気軽に安心して訪れることができるインフラを整備	Challenge : 美ヶ原にふさわしい新たな魅力創出に挑戦	Economy : 持続可能な観光資源による経済の好循環

再生のための7つの分野

美ヶ原を松本市の観光の“顔(FACE)”とするためには、複数の課題を洗い出し“向き合い(FACE)」、相互に連携させながら解決をしていく必要があります。

自然環境、移動・交通、情報通信、受入施設、登山道、管理体制、冬の魅力の7つの分野を中心に、現状(ポテンシャル)と課題を分析し、対応方針となる全体構想及びエリア別構想を定めることで再生を図ります。



主体的な取り組みへ

本計画は、市の最上位計画である「松本市総合計画(第11次基本計画)」を上位計画とし、関連分野及び松本市観光ビジョンとの整合性を確保しつつ、過去の議論を尊重した分野別全体構想として位置付けます。

なお、計画内容は、美ヶ原における松本市(松本市街地～美鈴湖～天狗の露地及び三城地区)としての整備方針を示すものです。

【松本市の上位計画】

松本市総合計画

<基本構想2030・第11次基本計画>

分野 4 : 環境・エネルギー

分野 5 : 都市基盤・危機管理

分野 7 : 文化・観光

松本市観光ビジョン

魅力の創出

マーケティングと情報発信の強化

安心して旅行を楽しめる環境づくり

おもてなしを磨く

【美ヶ原の再生に関する全体の構想】

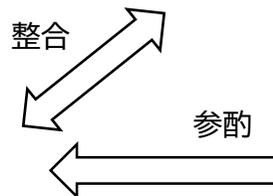
松本市美ヶ原再生計画



内容を抽出し、関係部局で対応

【松本市美ヶ原再生計画に基づく実行計画】

個別計画(実施計画)



- 美ヶ原台上保護利用計画
(昭和52年6月/長野県)
- 21世紀の美ヶ原高原研究会
最終報告書(平成16年2月/松本市)
- ビーナスライン沿線の保護と利用のあり方研究会
最終報告書(平成16年3月/長野県)
- 八ヶ岳中信高原国定公園(美ヶ原地域)管理運営計画書
(令和2年3月/長野県)

第2章 美ヶ原の現状(ポテンシャル)と課題

恵まれた自然資源

○ 現状(ポテンシャル)

- ・ 2,000m級の山が連なる平坦な地形を成す日本一広大な高原台地の百名山
- ・ 「世界の天井が抜けた(尾崎喜八氏)」かのような桁外れなスケール
- ・ 南・北・中央アルプス、八ヶ岳・浅間山、遠くは富士山まで見渡せる360度の雄大なパノラマ展望
- ・ 高い標高による寒冷な気候と、比較的少ない雨量がもたらす200種類の高山植物群
- ・ 松本市花のレンゲツツジの群生

○ 課題

- ・ ササの繁茂とニホンジカの食害による高山植物群の消失
- ・ カラマツの生育による眺望の一部悪化



植生回復を図る電気柵



カラマツの生育

市街地からほど近い距離感

○ 現状(ポテンシャル)

- ・ 市内からわずか1時間で到達することができる**林道美ヶ原線(美ヶ原スカイライン)**
- ・ 諏訪方面から続き、**林道よもぎこば線**と連結する日本有数の観光道路**ビーナスライン**
- ・ いずれも**自家用車で無料通行可能**
- ・ **各ルートへ季節運行のバス**

松本駅～林道美ヶ原線～長野県美ヶ原自然保護センター<運行主体:城下町松本フェスタ組織委員会>

松本駅～林道よもぎこば線～美ヶ原高原美術館<運行主体:アルピコ交通株>

○ 課題

- ・ **林道の老朽化**
- ・ **狭隘な道路状況**
- ・ バス運行における**採算性**



林道美ヶ原線



林道よもぎこば線

<城下町松本フェスタ組織委員会>
美ヶ原高原直行バス運行状況

	乗車人数	日数	便数	人/便
H29	1,585	67	266	6.0
H30	2,090	69	274	7.6
R1	2,156	73	290	7.4
R2	1,228	72	288	4.3
R3	1,631	71	284	5.7
R4	2,472	73	292	8.5

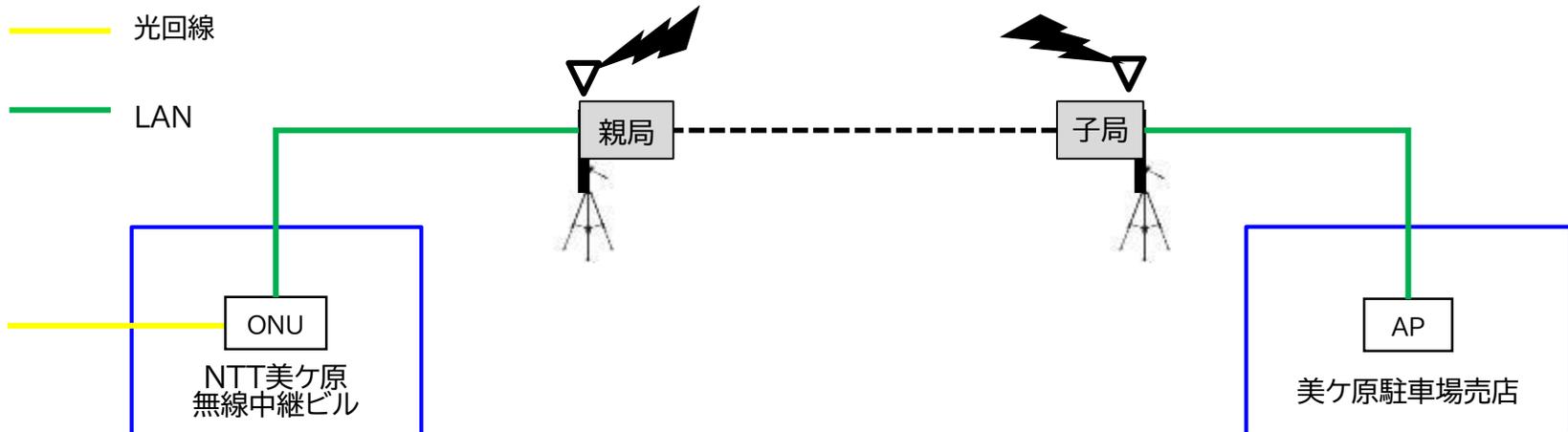
最新技術の活用

- 現状(ポテンシャル)
 - ・ 令和3年度に美ヶ原駐車場売店でNTT東日本と実証実験を実施
 - ・ 令和4年度に同箇所へWi-Fi設備を整備
 - ⇒ 山岳地で光回線を敷設しない高速通信技術の確立
- 課題
 - ・ より広範囲でのWi-Fi普及
 - ・ 登山時・散策時における携帯電話電波不感地帯の改善



「松本市美ヶ原駐車場売店で無線技術を活用した高速インターネットサービス実証実験にかかる協議書」締結式(令和3年4月)

実証実験における通信構成(NTT東日本提供)



美ヶ原の入口となる公共施設

○ 現状(ポテンシャル)

- ・ 美ヶ原駐車場売店(市)、長野県美ヶ原自然保護センター(県)で観光案内及び物販・食事提供
- ・ 三城いこいの広場(市)でキャンプ場運営及び休憩所機能
- ・ 美ヶ原少年自然の家(市)で自然体験学習

○ 課題

- ・ 施設の老朽化[美ヶ原駐車場売店(平成4年11月)・長野県自然保護センター(平成5年3月)/三城いこいの広場(昭和58年7月)/少年自然の家(平成9年3月)]
- ・ 環境に配慮した清潔なトイレの通年利用
- ・ 美ヶ原駐車場売店及び長野県美ヶ原自然保護センターの在り方



美ヶ原駐車場売店
(平成4年11月竣工)



長野県美ヶ原自然保護センター
(平成5年3月竣工)



三城いこいの広場
(昭和58年7月竣工)



美ヶ原少年自然の家
(平成9年3月)

豊富な散策道

- 現状(ポテンシャル)
 - ・ 多彩なルートと高すぎない難易度で人気のロングトレイル
 - ・ 三城地区(百曲りルート)は、美ヶ原登山の玄関口
- 課題
 - ・ 自然災害に伴う倒木、崩落危険箇所の増加



美ヶ原高原ロングトレイル・コース図(抜粋)



自然災害により通行不可となった登山道



百曲りからみた絶景

複数の管理者

○ 現状(ポテンシャル)

・ 複数の公共団体等による管理

国定公園の管理 → 長野県

牧場の管理 → 美ヶ原牧場畜産農業協同組合

森林(土地)の管理(国有林) → 中信森林管理署・東信森林管理署

土地の所在地 → 松本市・上田市・長和町

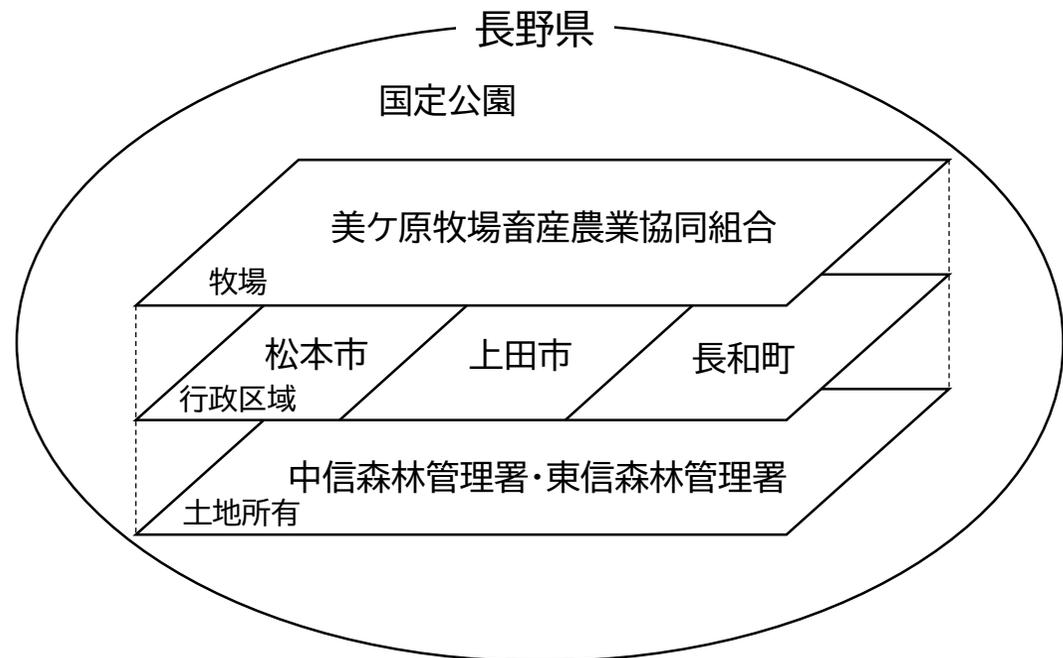
- ・ 美ヶ原観光連盟(松本市・上田市・長和町ほか[事務局:松本市])が、美ヶ原駐車場売店及び長野県美ヶ原自然保護センター等を管理・運営

○ 課題

・ 団体それぞれの考え

・ 施設の活性化

・ 美ヶ原観光連盟事業の硬直化



幻想的な景色

○ 現状(ポテンシャル)

- ・ シーズンで最高と称される**絶景**
- ・ 高原への**アクセスが限定的**



冬の絶景[霧氷]

○ 課題

- ・ 観光資源としての活用
- ・ 安全性の確保
- ・ トイレを含む受入体制が不十分



冬の天狗の露地周辺

第3章 全体構想

植生の回復に向けて

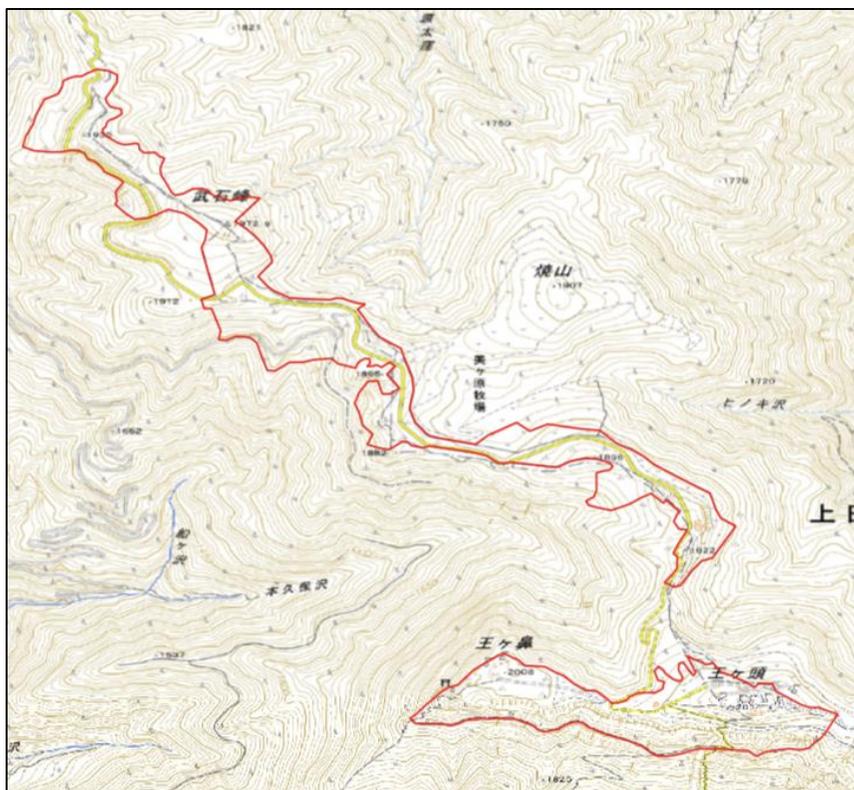
広大な美ヶ原全体にササが繁茂しており、人手をかけて植生回復を行わなければなりません。

そこで、松本市域[武石峠～長野県美ヶ原自然保護センター～^{おうがはな}王ヶ鼻～^{おうがとう}王ヶ頭](下図)の植生調査を行い、現存する植物目録及び分布図を作成することで、**重点箇所**を定め、集中的に取り組みます。同時に、ササの再生利用の研究を行い、**持続可能な植生回復の仕組みづくり**へ挑戦します。

また、自然環境の整備として、関係機関と調整のうえ、危険木や高低木の手入れなど森林管理の強化に努めます。

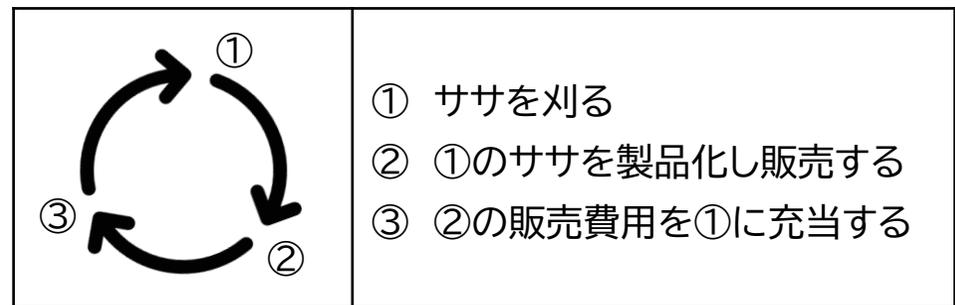
【対応エリア】

- ・ 美鈴湖から天狗の露地エリア
- ・ 天狗の露地エリア



対応区分	取組内容
実行	植生調査の実施
実行	ササ刈りの徹底
実行	電気柵範囲の拡大
挑戦	持続可能な植生回復の仕組みづくり

植生回復のサイクル<イメージ>



より快適で行きやすい高原へ

松本市からの主道路である林道美ヶ原線の改善が急務です。道路状況の改善を図るとともに、不安を少しでも軽減できるよう、標識や看板の充実にも取り組みます。

ビーナスラインとの接続の要である林道よもぎこば線は、法面崩落の危険性を回避できるよう維持管理します。

公共交通としては、市街地におけるMaaS導入の先行事例を参考にしながら美ヶ原への導入可能性を検討するとともに、民間を含む関係機関団体等へ利便性の向上について働きかけ、ビーナスライン側との回遊性を高める手段の研究を進めます。

なお、自然環境への影響や高齢者・障がいのある方等の移動に配慮した高原内移動のためのグリーンスローモビリティ導入やロープウェイの建設など将来へ向けた可能性の研究も行います。

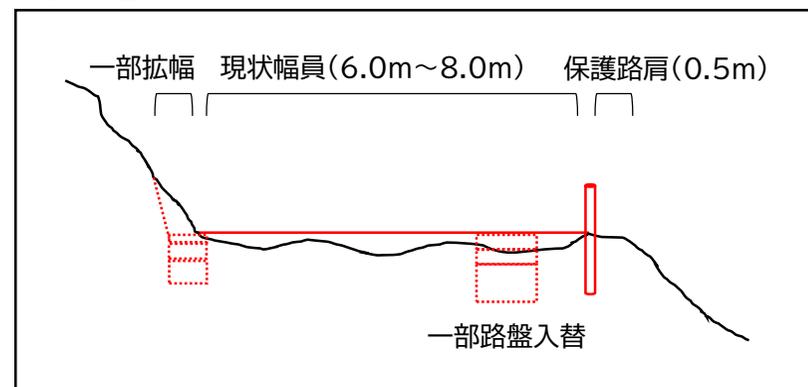
【対応エリア】

- ・ 美鈴湖エリア
- ・ 美鈴湖から天狗の露地エリア
- ・ 天狗の露地エリア

※1 MaaS：すべての交通手段による移動を1つのサービスに統合し、ルート検索から支払いまでをシームレスにつなぐ概念

※2 グリーンスローモビリティ：時速20km未満で走行する電動車を活用した小さな移動サービス

○ 林道美ヶ原線のオーバーレイ舗装(イメージ)



対応区分	取組内容
実行	林道美ヶ原線の改善(道路補修・標識等設置)
実行	林道よもぎこば線の維持管理強化
挑戦	MaaS導入を検討
挑戦	ビーナスライン側との相互送客機能
挑戦	グリーンスローモビリティ導入へ向けた研究
挑戦	索道建設など将来へ向けた研究



未来志向型観光地へ

【対応エリア】

- ・ 天狗の露地エリア
- ・ 三城エリア

令和3年度のNTT東日本との実証実験により、山岳地で光回線を敷設しない高速通信技術を確立することができました。現在は、直進性と視認性及び管理上の観点から美ヶ原駐車場売店のみの利用となっておりますが、高原内の各ポイントでWi-Fiが利用できるよう拠点を増設することで、キャッシュレス決済などデジタル活用の推進を図ります。

これにより、リアルタイムの美ヶ原の状況を届けることが可能となるので、ライブカメラを設置し、利便性の向上に努めます。

Wi-Fiだけでなく、電波状況が悪く、圏外となる箇所も存在するため、携帯不感地帯改善の要望を行います。

また、雨天時や普段と異なる景色を楽しむことができるVRによる体験型観光へ挑戦し、美ヶ原でのコンテンツ増設を図ります。

対応区分	取組内容
実行	Wi-Fi拠点増設
実行	キャッシュレス決済
実行	ライブカメラの設置
実行	携帯会社へ不感地帯改善の要望
挑戦	VRによる体験型観光



【対応エリア】

- ・ 天狗の露地エリア
- ・ 三城エリア

「行きたい」目的地へ

現在の美ヶ原駐車場売店及び長野県美ヶ原自然保護センターへの来場者数は、美ヶ原全体の約4%を占めるにとどまっています。観光用道路であるビーナスラインと比較すると、アクセスに不安はあるものの資源として劣っているものではありません。見どころのあるわかりやすい施設<目的地>の存在によって、価値は大きく変わるものと考えます。

そのためには、築後30年近く経過していることも鑑みて、美ヶ原駐車場売店の整備を進めると同時に、隣接する長野県美ヶ原自然保護センターとの効果的な一体管理を所有者の長野県とともに協議を進めます。また、環境に配慮した清潔なトイレの整備によって、観光客を気持ちよく迎え入れます。

そして、市街地との一体的なプロモーション強化に力点を置きます。

三城いこいの広場については、大規模改修にあわせて稼働率の向上を意識したリニューアルを図ることで、市内に点在するキャンプ場と連動した運営を計画していきます。また、美ヶ原少年自然の家では、若者への自然体験学習の場を継続的に提供できるよう整備します。

対応区分	取組内容
実行	プロモーション強化
実行	トイレの整備
実行	<天狗の露地> 施設整備
実行	<三城> 施設整備



理想とする施設



若者向けPR(作成:高野莓)

【対応エリア】
・ 三城エリア

市民参加型の維持管理

市内小学校が高原登山学習を行い、平成24年から開始した全長45kmの「美ヶ原高原ロングトレイル」も好評を得るなど、**根強い登山人気**があります。

その人気を維持するためには、**利用する皆さんの協力**が必要です。

既存の道路損傷等通報システムを活用し、危険箇所を把握するとともに、通行した人数、様々なデータをもとに、広大な美ヶ原で好んで歩かれる場所を調査し、随時補修を行っていきます。

また、整備とあわせて**登山道のブランド化**を図るなど、山岳プロモーションに努めます。

対応区分	取組内容
実行	登山道管理システム導入
実行	登山道の補修
挑戦	登山道のブランド化



【対応エリア】
・ 天狗の露地エリア

民間活力でよりよい高原へ

美ヶ原にはまだまだ知られていない魅力が眠っています。

銀世界が広がる冬・満天に輝く星空・四季折々のアルプスの眺望・種類豊富な高山植物など、どれも一級品の観光資源です。

しかしながら、現行の行政主体の管理体制では、日々の維持管理に追われ、その先の活用や運用に至っていません。

魅力発信に向け、民間との協働により、観光資源を活用したガイドツアーの造成を進めます。

また、施設自体の在り方と連動し、指定管理者制度導入に向けたステップを踏んでいきます。

対応区分	取組内容
実行	観光資源を活用したガイドツアーの造成
挑戦	指定管理者制度の導入



白銀の絶景を観光活用

- 【対応エリア】
- ・ 天狗の露地エリア
 - ・ 三城エリア

最も美しい景色と評価される冬的美ヶ原を堪能してもらえるよう挑戦します。

冬期の通行規制がない道路利用と百曲りを経た冬山体験による資源活用を図ります。

さらに、安全性と将来性を見据えたロープウェイなどの索道建設の可能性を研究します。

ただし、極寒となる2,000mの高原地での避難所機能と水不足の懸念があるトイレ問題の解決を含む施設の運営もあわせて検討していきます。

対応区分	取組内容
実行	冬山体験ツアーの開催
挑戦	冬期対応可となる施設運営
挑戦	索道建設など将来へ向けた研究



エリアの特徴をヒントにした活性化

美ヶ原の各エリアごとの特徴や潜在力を基に、+αとなる整備を促していきます。

キーワードとなる、湖・自転車・温泉・キャンプ場を結び付け、民間活力をサポートすることで、エリアの活性化を図ります。



湖

- ・ 森に佇む美鈴湖は神秘的
- ・ 栈橋整備区域外をアクティビティ活用した、アドベンチャーツーリズムを展開



自転車

- ・ 「激坂」は通好みのルート
- ・ シェアサイクルを主体とした、サイクルツーリズムを展開



温泉

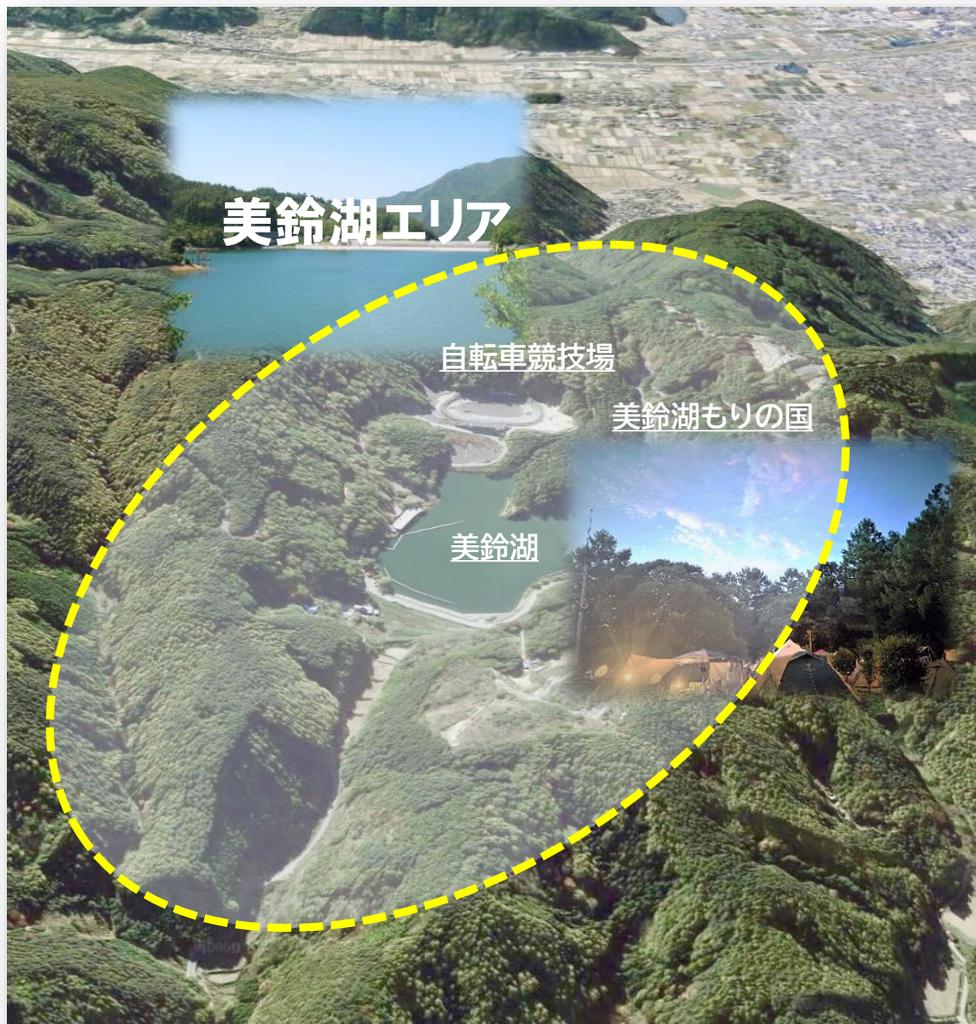
- ・ 浅間・美ヶ原・扉温泉と麓に広がる温泉地
- ・ 心身ともに休息できるウェルネスツーリズムを展開



キャンプ場

- ・ 特色の異なる美鈴湖もりの国と三城いこいの広場
- ・ 差別化を図り、アウトドアツーリズムを展開

第4章 エリア別構想



【特徴/潜在力】

- ・ 県内有数の釣リスポット〔夏:ヘラブナ 冬:ワカサギ〕
- ・ 美ヶ原唯一の水辺
- ・ 市街地から近く人気のキャンプ場
- ・ 日本トップクラスの稼働率を誇る自転車競技場

対応区分	取組内容
実行	林道美ヶ原線の改善(道路補修・標識設置)
挑戦	MaaSの導入



民間との協働によるアクティビティの活性化

【関係する課】

- ・ 本郷地区地域づくりセンター
- ・ 観光プロモーション課
- ・ 公共交通課
- ・ 森林環境課
- ・ スポーツ推進課
- ・ 自転車推進課

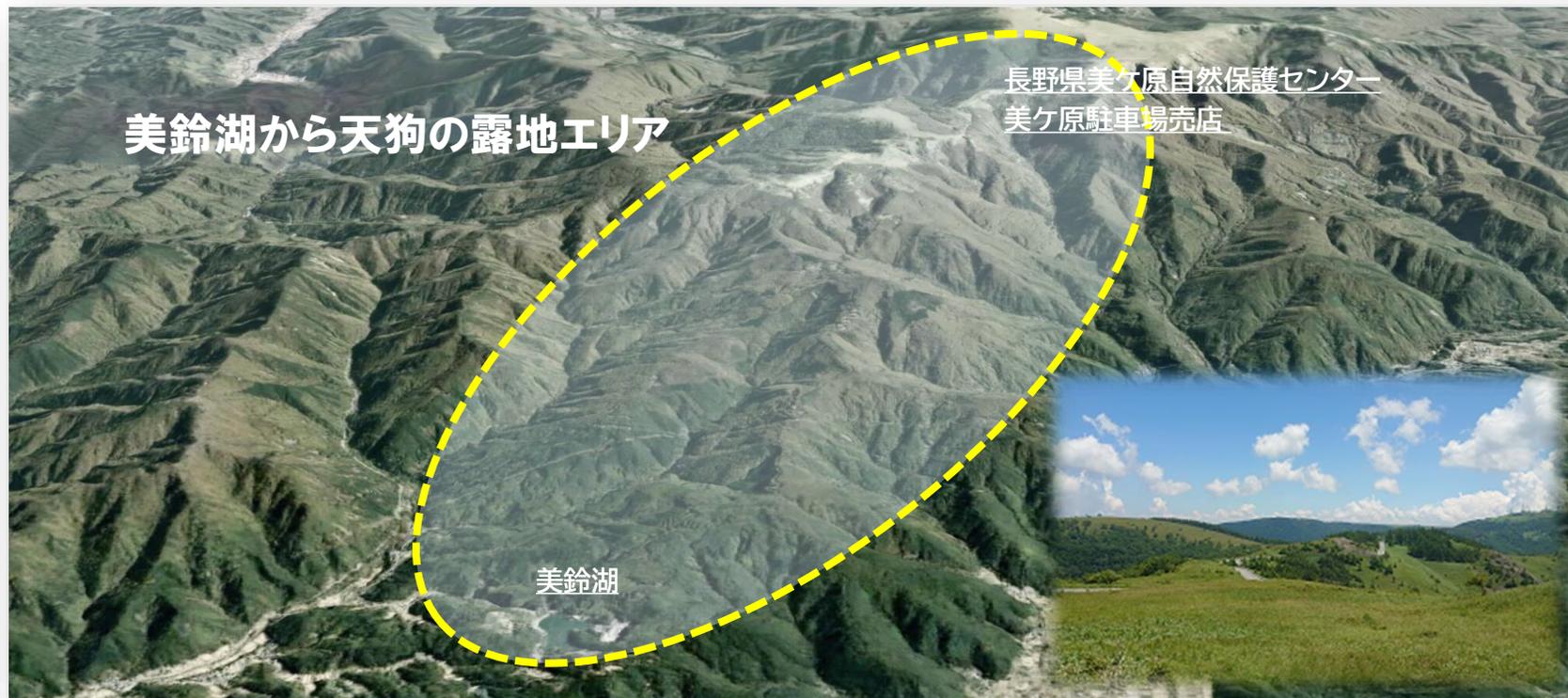
【特徴/潜在力】

- ・ 市街地から最短で台上付近まで到達可能
- ・ 車窓から見える展望

【関係する課】

- ・ 本郷地区地域づくりセンター
- ・ 観光プロモーション課
- ・ 自転車推進課
- ・ 建設課
- ・ 森林環境課
- ・ 公共交通課
- ・ 維持課

対応区分	取組内容
実行	植生調査の実施/ササ刈りの徹底/電気柵範囲の拡大
実行	林道美ヶ原線の改善(道路補修・標識等設置)
挑戦	MaaSの導入
挑戦	ビーナスライン側との相互送客機能
挑戦	グリーンスローモビリティの導入





【特徴/潜在力】

- ・ 松本市からの車両終着点
- ・ ワンストップする施設

対応区分	取組内容
実行	植生調査の実施/ササ刈りの徹底/電気柵範囲の拡大
実行	Wi-Fi拠点増設/携帯不感地帯改善の要望
実行	キャッシュレス決済/ライブカメラの設置
実行	トイレの整備/<天狗の露地>施設整備
実行	観光資源を活用したガイドツアーの造成/冬山体験ツアー
挑戦	持続可能な植生回復の仕組みづくり
挑戦	MaaSの導入
挑戦	グリーンスローモビリティの導入
挑戦	VRによる体験型観光
挑戦	指定管理者制度の導入/冬期対応可となる施設運営

【関係する課】

- ・ DX推進本部
- ・ 環境・地域エネルギー課
- ・ 森林環境課
- ・ 観光プロモーション課
- ・ 公共交通課
- ・ 自転車推進課



【特徴/潜在力】

- ・ 美ヶ原登山の玄関口
- ・ 松本市から唯一ビーナスラインへ接続できる道路
- ・ 自然に囲まれたキャンプ場

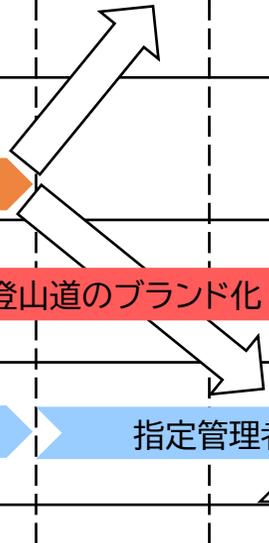
対応区分	取組内容
実行	林道よもぎこぼ線の維持管理強化
実行	携帯不感地帯改善の要望
実行	<三城>施設改修
実行	登山道管理システム導入/登山道の補修
実行	冬山体験ツアーの開催
挑戦	ビーナスライン側との相互送客機能
挑戦	索道建設など将来に向けた検討
挑戦	登山道のブランド化

【関係する課】

- ・ 入山辺地区地域づくりセンター
- ・ 環境・地域エネルギー課
- ・ 森林環境課
- ・ 観光プロモーション課
- ・ 建設課
- ・ 維持課
- ・ 学校教育課

第5章 ロードマップ

	短期実行計画					長期挑戦計画			
	短期		中期			長期			
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~
自然環境	植生調査	植生回復モニタリング				植生回復サイクルの仕組みづくり			
		ササ刈り強化/電気柵範囲拡大							
移動・交通	林道美ヶ原線の改良整備					MaaS/グリーンスローモビリティ/索道の研究			
情報通信	Wi-Fi拠点増設/キャッシュレス決済/ライブカメラ					VRによる体験型観光			
	携帯不感地帯改善の要望								
受入施設		トイレ整備							
	関係機関との調整等		設計		拠点施設の整備				
登山道	管理システム導入	登山道の補修			登山道のブランド化				
管理体制	ガイドツアーの造成		継続			指定管理者制度の導入			
冬の魅力	冬山体験ツアー		継続			冬期対応可となる施設運営			

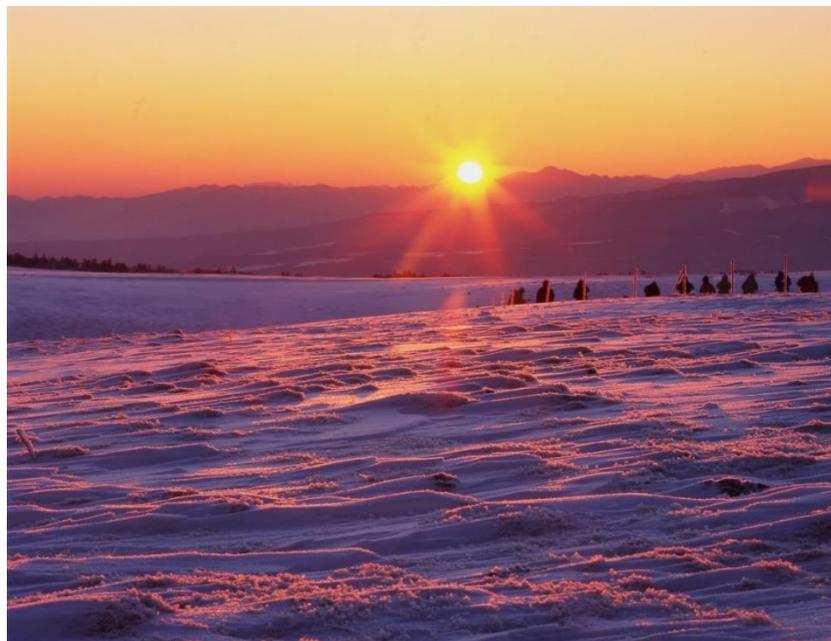
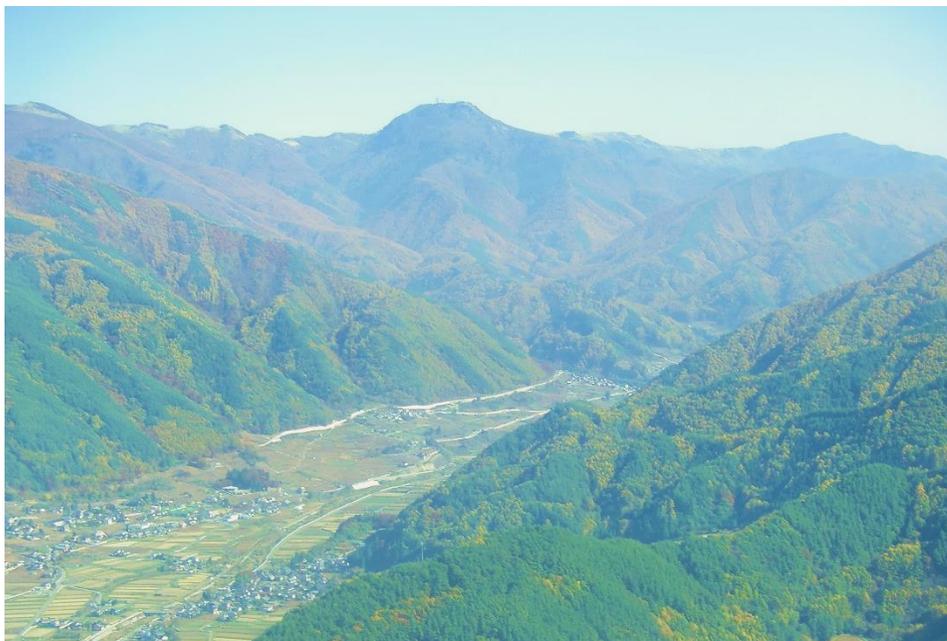


“これからの美ヶ原”に向かって

これからの美ヶ原の在り方を考えるに当たり、抜群の眺望、豊かな自然、散策の快適さなどの既存の魅力の再生やブラッシュアップを図ることはもちろん、今の時代、あるいはこれからの時代を見据えた新たな魅力を創出することも重要になってきます。

こうした観点から策定した本計画に基づき、すぐに実行できる事業についてはこれまで以上にスピード感をもって取り組むとともに、現状では解決が難しい課題に対しても、長期的な視点を持ち、関係者と協議しながら着実に進めていく必要があります。

様々な課題に“向き合い(FACE)」、私たちの美ヶ原が日本に誇る観光の“顔(FACE)”になることを目指して、美ヶ原の再生に取り組んでいきます。



[参考資料]

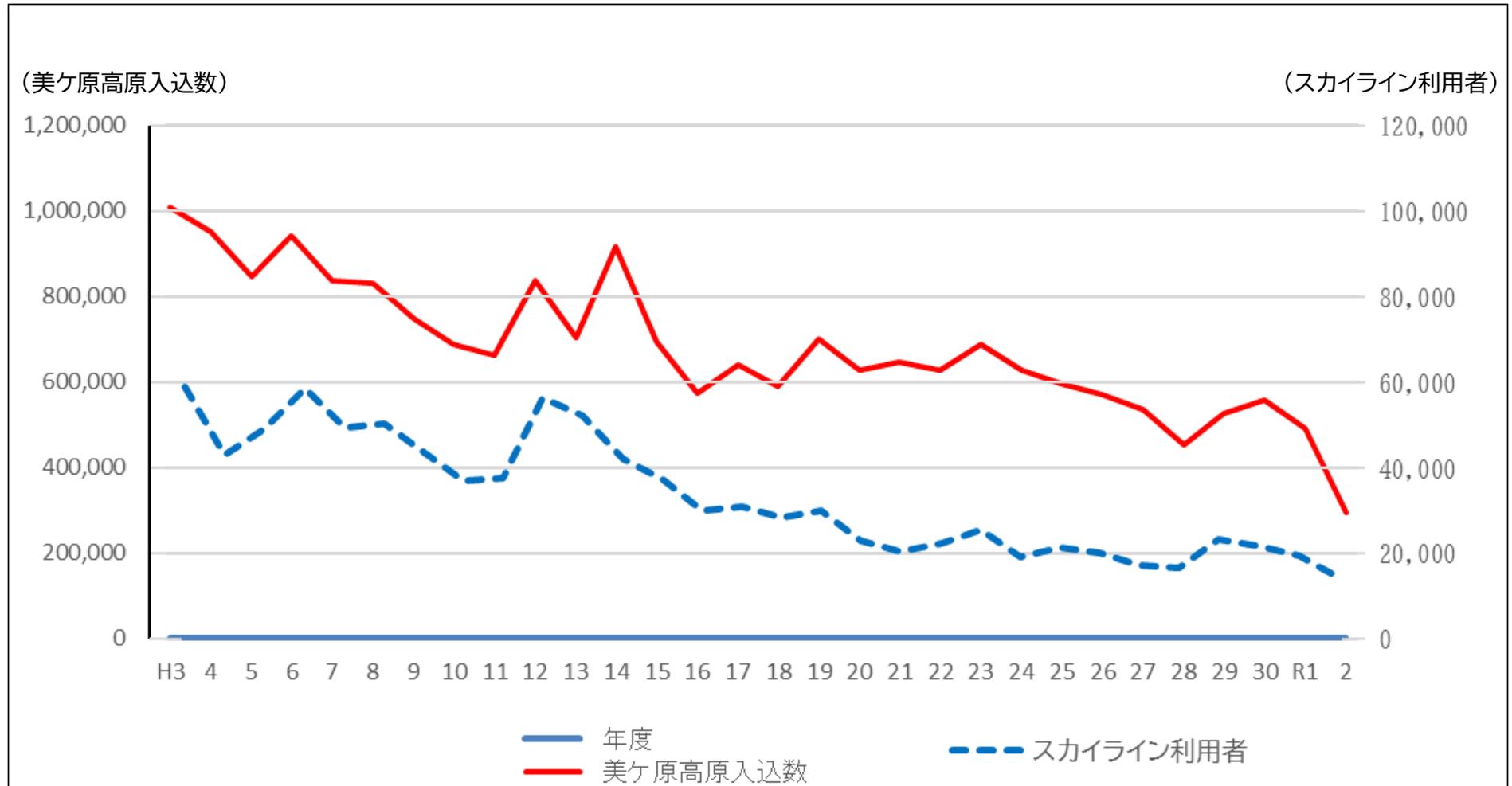


○ 美ヶ原再生に向けた取組経過

年	内容	実施主体
平成 5年	長野県美ヶ原自然保護センターを設置	長野県
14年	ビーナスライン及び林道美ヶ原線を無償化	長野県 松本市
	塩くれ場にバイオトイレを設置	長野県
19年	3市町によるササ刈りを開始	美ヶ原観光連盟
21年	思い出の丘に公衆トイレを設置	松本市
24年	植生保護のため電気柵を設置	長野県
	美ヶ原高原ロングトレイルの開通	松本市
令和元年	植生保護のため忌避剤散布を開始	長野県
3年	NTT東日本と無線高速通信技術実証実験	松本市
	美ヶ原駐車場売店を「うつくしテラス」へリニューアル	美ヶ原観光連盟

○ 議論の経過

年	主なできごと	内容	実施主体
昭和39年	八ヶ岳中信高原国定公園に指定	自然公園法上の規定による	国
52年	美ヶ原台上保護利用計画を策定	公園の保護管理強化と 台上の一般車両通行禁止を決定	長野県
56年	ビーナスライン全線供用開始	美ヶ原の観光利用が増大	長野県
平成12年	「21世紀の美ヶ原高原研究会」を設立	林道美ヶ原線及びビーナスライン 無料化に伴う状況変化への対応	松本市
14年	「ビーナスライン沿線の保護と利用の あり方研究会」を設立	ビーナスライン無料化に伴う 状況変化への対応	長野県
16年	「21世紀の美ヶ原高原研究会」が 最終報告書を提出	美ヶ原台上保護利用計画の基本方針を 原則とし、八ヶ岳中信高原国定公園の 計画変更への反映を要望	松本市
	「ビーナスライン沿線の保護と利用の あり方研究会」が最終報告書を提出	「歩く」を基本とした利用方針を決定	長野県
22年	美ヶ原行政事務組合が解散	施設管理を美ヶ原観光連盟が継承	-
令和2年	八ヶ岳中信高原国定公園 (美ヶ原地域)管理運営計画書を策定	美ヶ原台上保護利用計画の基本方針を 原則とし、将来目標を決定	長野県



【松本市美ヶ原再生計画策定庁内連絡会議】

部局	課
総合戦略局	DX推進本部
住民自治局	入山辺地区地域づくりセンター 本郷地区地域づくりセンター
財政部	財政課
○ 環境エネルギー部	環境・地域エネルギー課 森林環境課
◎ 文化観光部	観光プロモーション課 スポーツ推進課
交通部	交通ネットワーク課 公共交通課 自転車推進課
○ 建設部	建設総務課 建設課 維持課
教育委員会	学校教育課

◎ 委員長 ○ 副委員長

【松本市美ヶ原再生計画関係機関会議】

機関	団体名
松本市	文化観光部観光プロモーション課
国	林野庁 中部森林管理局 中信森林管理署
長野県	環境部 自然保護課
	松本地域振興局 環境・廃棄物対策課
	商工観光課
民間	(一社)松本観光コンベンション協会
	浅間温泉観光協会
	美ヶ原温泉旅館協同組合
	美ヶ原観光組合
	美ヶ原高原観光協議会
	美ヶ原牧場畜産農業協同組合